

2026.2.10

# 2025年12月期通期 決算説明資料

株式会社コーチ・エィ（東証スタンダード 証券コード9339）



# 2025年12月期の通期実績

# 2025年12月期通期\_連結業績の結果

- 受注高

サービスのリニューアルや大規模イベントの実施を通じて顧客基盤の拡大が進んだことにより、特に小規模案件の取引額は増加したものの、受注リードタイムが長い大規模案件については期中の契約に至らなかった。  
一方、連結売上高に占める構成比は小さいものの、近年リリースしたAIコーチング「CoachAmit」、トランジションコーチング、ICTは、いずれも受注が拡大した。（当社のサービス一覧は[こちら](#)よりご覧ください）
- 売上高

2025年の売上高に大きな影響を及ぼす2024年下期から2025年上期までの受注が低調だったことを主な要因として、計画を下回る着地となった。
- 営業利益

営業活動にかかる投資は継続した一方、業務効率化の推進等によって営業関連費用や人件費を抑制したため、営業利益は計画を上回って着地した。

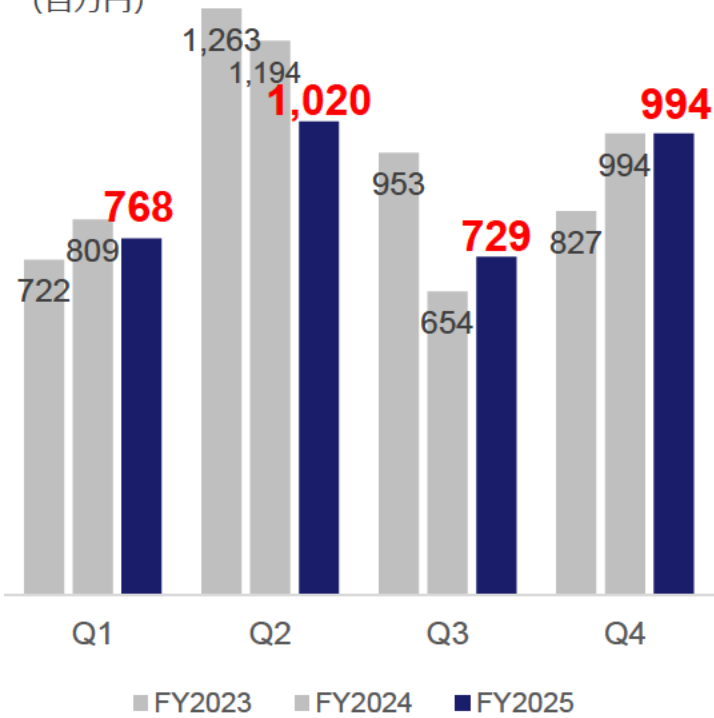
(百万円)	FY2025 実績	FY2024 実績	前期比		FY2025 連結業績予想	対計画比
			(比率)	(増減額)		
受注高	3,465	3,652	94.9%	-186	3,800	91.2%
売上高	3,501	3,642	96.1%	-140	3,743	93.6%
営業費用 (売上原価+販管費)	3,290	3,487	94.3%	-197	3,583	91.8%
営業利益	211	155	136.4%	+56	160	132.4%
営業外損益計	-9	+44	—	-54	—	—
経常利益	202	199	101.2%	+2	160	126.3%
特別損益計	-27	-5	—	-22	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	98	111	88.9%	-12	73	135.0%

- ・ 詳細はP5に記載。
- ・ 連結子会社に対するデット・エクイティ・スワップの実施等により、為替差損が発生した。なお前期は、円安環境下で為替差益が発生した。
- ・ 主には、中国における市場環境変化への対応を目的とした、連結子会社COACH A Co., Ltd. (Shanghai)の合理化に伴う、事業構造改善費用の計上による。

# 2025年\_受注高・売上高・営業利益の四半期毎推移

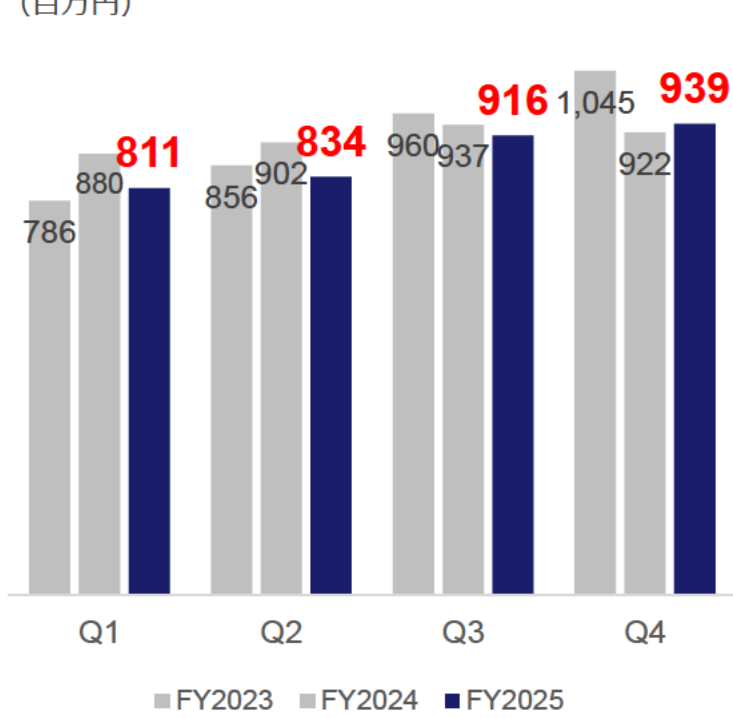
## 受注高

(百万円)



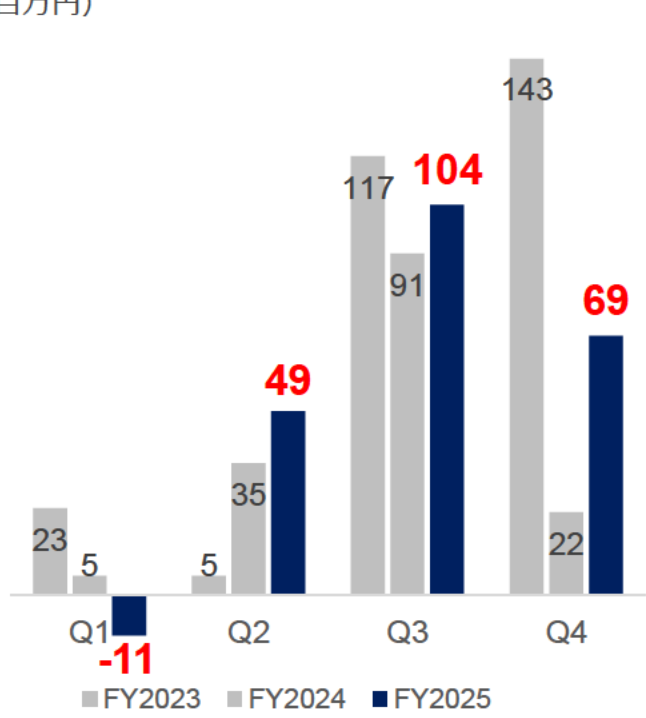
## 売上高

(百万円)



## 営業利益

(百万円)



# 2025年12月期通期\_営業利益の変動要因分析

## 売上高

2025年の売上高に大きな影響を及ぼす2024年下期から2025年上期までの受注が低調だったことを主な要因として、前期を下回る着地となった。

## 採用・人件費関連

- ー 役員報酬の見直し、業務効率化の推進に伴う人員配置の見直し等により、人件費が減少した。
- ー 在籍コーチの育成に注力し新規採用を抑えたため、採用費が減少した。

## オフィス関連

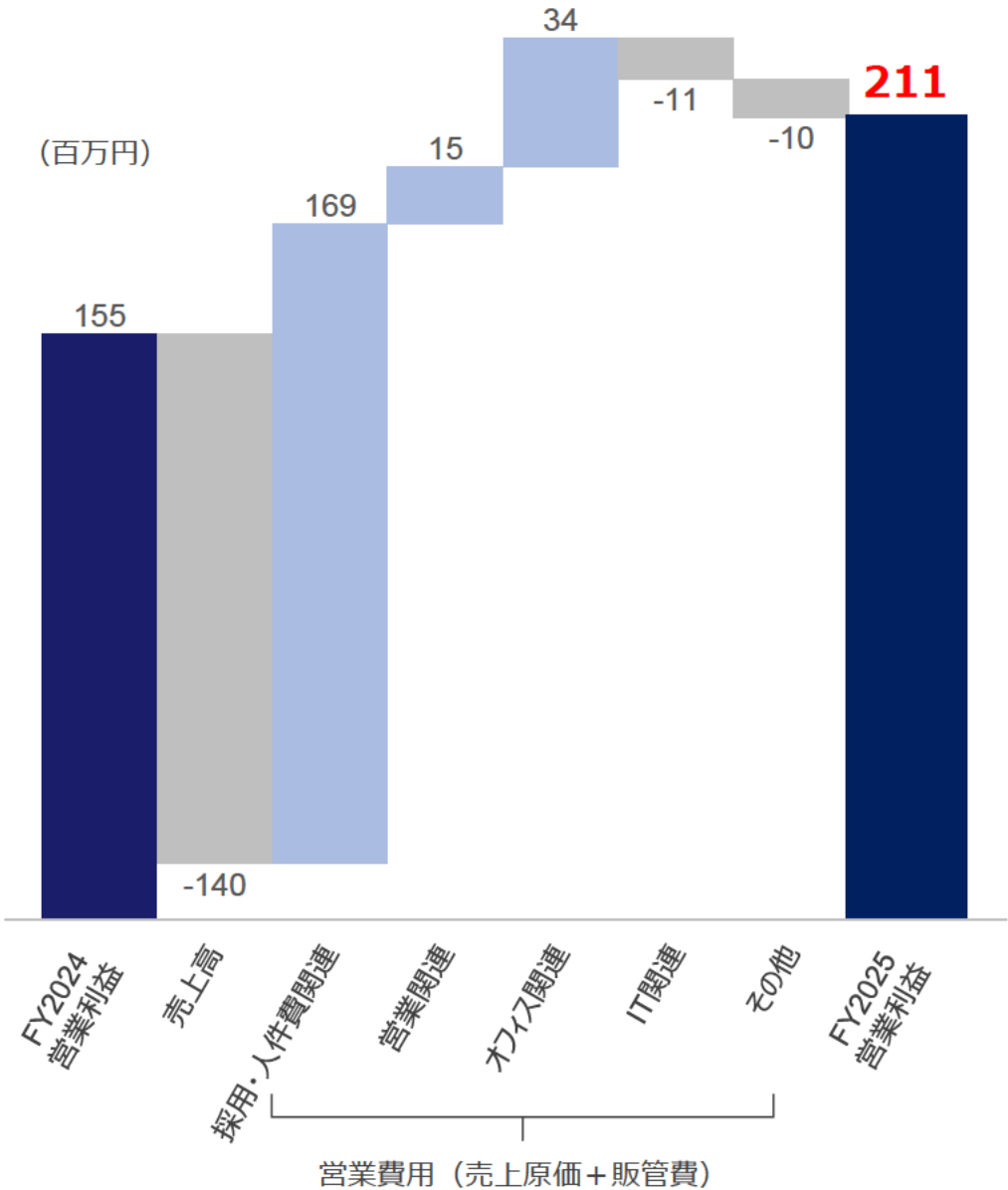
前期実施したオフィス増床に付随する備品購入が当期は発生しなかったことに伴い、事務用消耗品費が減少した。

## IT関連

業務効率化やDXの推進のほか、社外パートナーと開発・保守の協働体制を整えるなど、生産性向上を進めるための投資を行ったことによりIT関連費用が増加した。

## 営業利益

営業活動にかかる投資は継続した一方、業務効率化の推進等によって営業費用を抑制したため、営業利益は前期を上回って着地した。



# 2025年12月期\_連結貸借対照表

## 資産

コーチング関連のIT投資などによる無形固定資産が前期比で128百万円増加した。

## 負債

賞与引当金が前期比で48百万円増加した。

## 純資産

当期純利益の計上により利益剰余金が51百万円増加したこと、また、譲渡制限付株式報酬による株式を23百万円発行したことに伴い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ11百万円ずつ前期比で増加した。

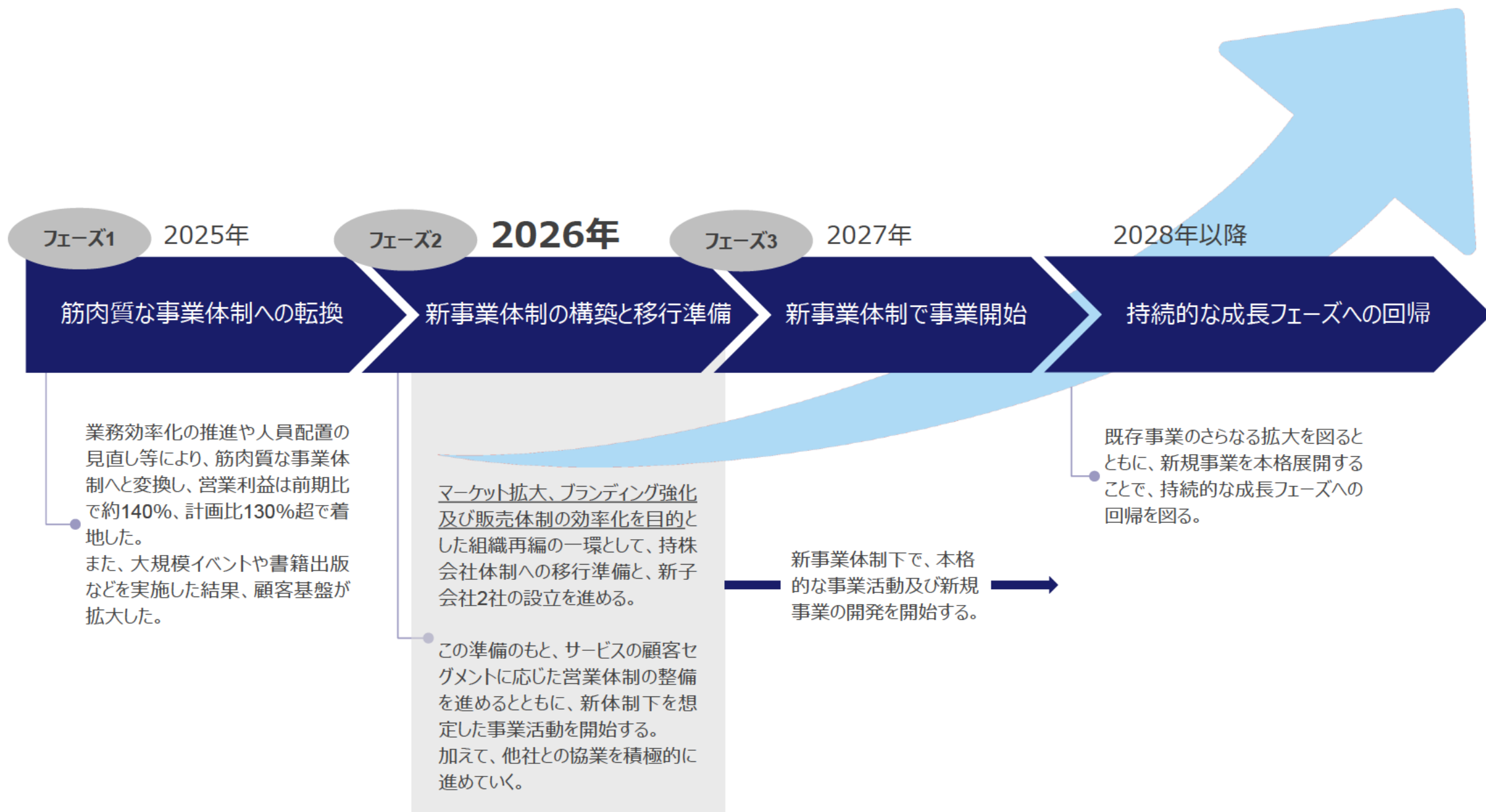
(百万円)	2025年12月末	2024年12月末	前期比
流動資産	3,647	3,660	-12
固定資産	820	685	+135
資産合計	4,468	4,345	+122
流動負債	1,249	1,236	+13
固定負債	39	43	-3
負債合計	1,289	1,279	+9
純資産	3,178	3,065	+112

# 2026年12月期の経営テーマと業績見通し

## 中長期的な成長を目的とした新事業体制の構築と移行準備

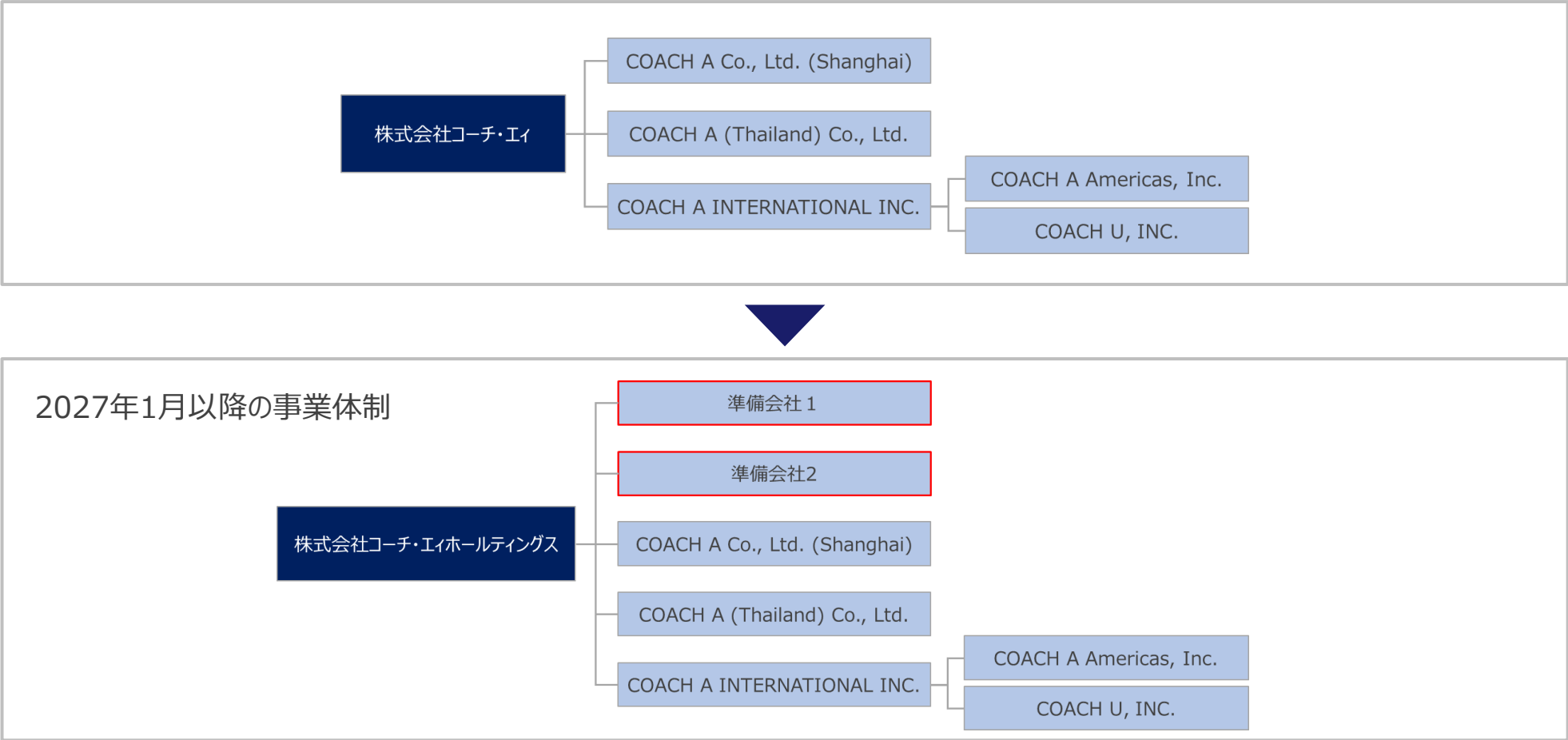


## 中長期的な成長に向けたタイムライン



# 中長期的な成長に向け、持株会社体制へ移行するとともに子会社を設立

当社グループのマーケット拡大、ブランディング強化及び販売体制の効率化を目的とした組織再編の一環として、持株会社体制へ移行するとともに、新たに2社の子会社を設立する。また、当該組織再編に伴い、当社の商号を「株式会社コーチ・エイ」から「株式会社コーチ・エイホールディングス」に変更する。



※ 併せて2026年2月10日発表の「事業体制の変更に伴う子会社の設立並びに商号変更及び定款の一部変更に関するお知らせ」をご覧ください。  
※ 商号変更は2027年1月1日を予定しておりますが、2026年3月26日開催予定の第25期定時株主総会において、「定款一部変更の件」が承認されることが条件となります。  
※ 子会社の設立は2026年7月1日を予定しており、事業開始は2027年1月1日を予定しております。

## 中長期的な成長に向け、持株会社体制へ移行するとともに子会社を設立

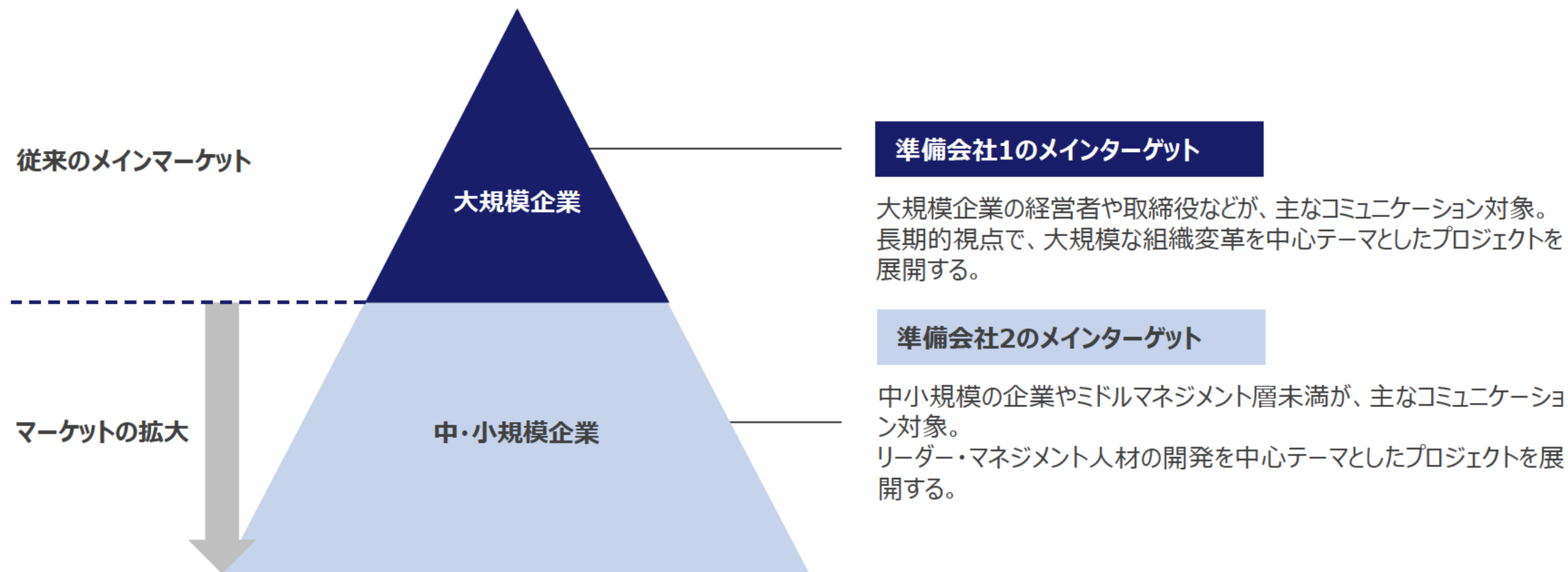
新たな事業体制のもと、サービスの顧客セグメントに応じた営業体制の整備や人材育成の推進、また、グループ全体の経営管理や資本配分の最適化を図り、中長期的な企業価値の向上につなげる。

### 2027年1月以降の事業体制



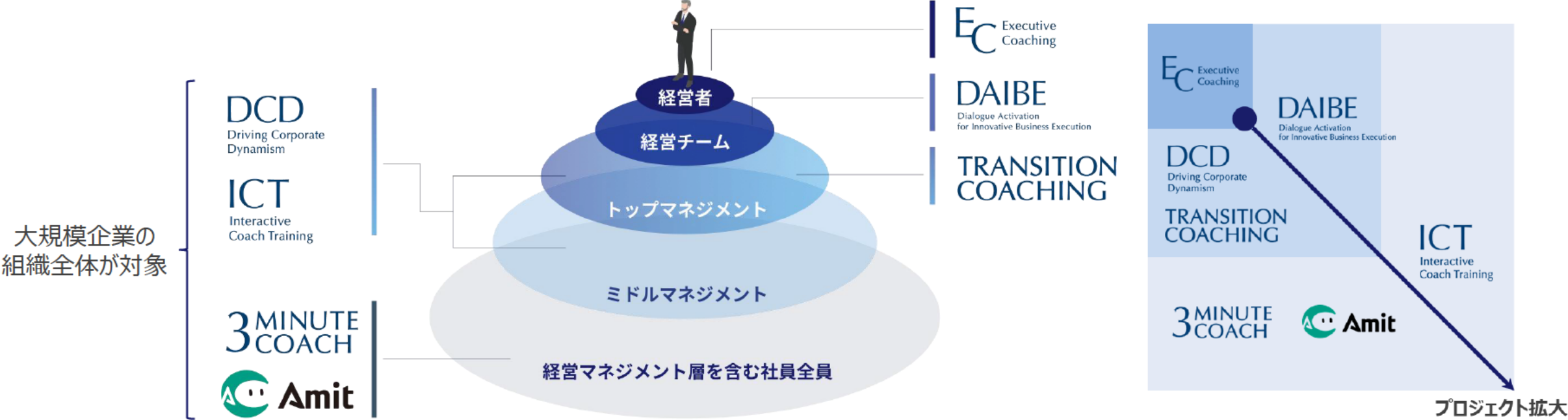
## 各新子会社のメインターゲット

顧客ニーズが多様化・細分化する中で、新設する子会社各社は、当社グループのブランドを棄損することなく、各サービスの特性や対象に応じた市場開拓及び販売推進を担い、市場競争力のさらなる強化を目指す。



# 準備会社1の事業領域

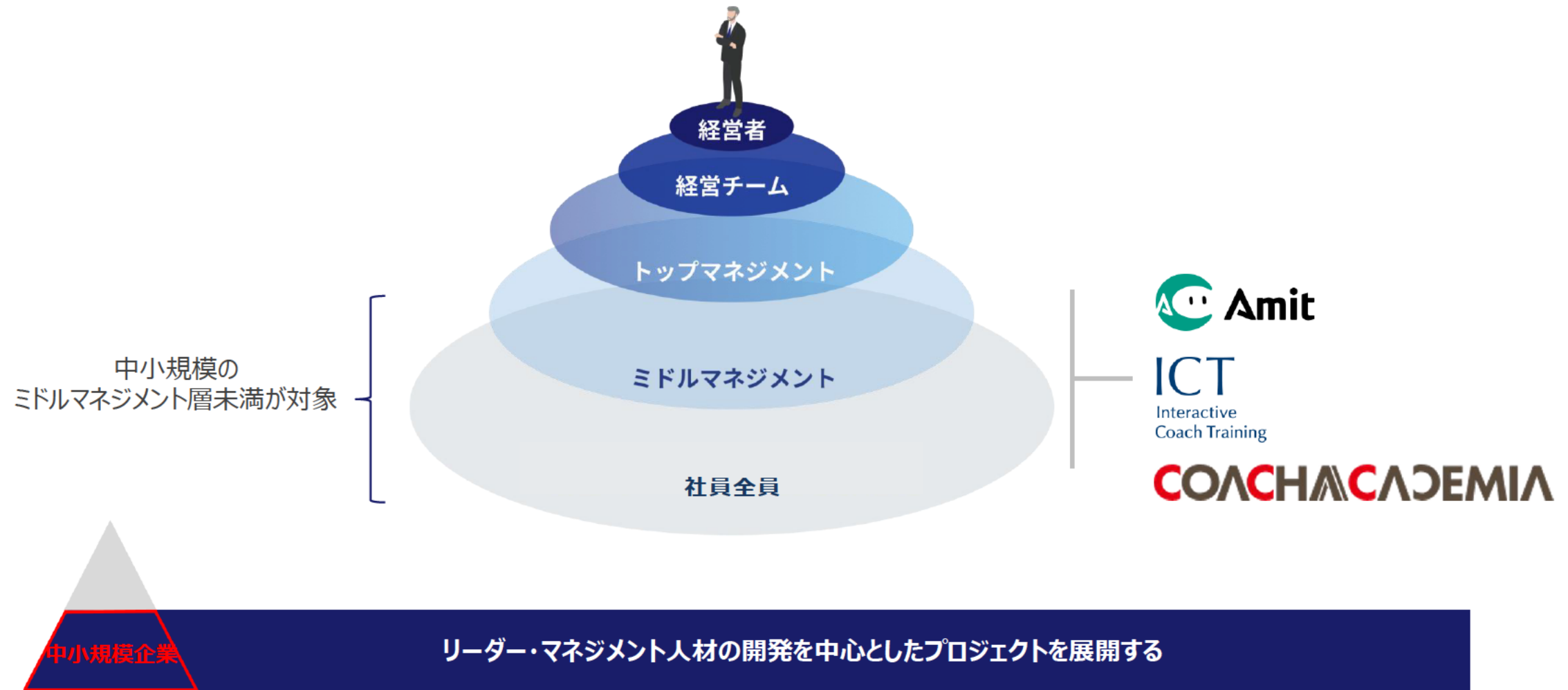
大企業のトップエグゼクティブを起点とした継続的な案件創出を通じて、各企業の状況に応じたサービスの組み合わせにより、長期的視点での大規模な組織変革プロジェクトの展開を図る。



複数のサービスを組み合わせることで、大規模な組織変革プロジェクトを展開する

## 準備会社2の事業領域

AIコーチング「CoachAmit」、コーチ・エイ アカデミア、ICTを中心に、リーダー・マネジメント人材の開発を中心テーマとしたプロジェクトを展開する。加えて、新規事業の開発・実証実験などを行う。



## 2026年12月期\_通期連結業績の見通し

(百万円)	FY2026/12計画	FY2025/12実績	前期比
受注高	3,600	3,465	+3.9%
売上高	3,500	3,501	-0.1%
営業費用（売上原価+販管費）	3,300	3,290	+0.3%
営業利益	200	211	-5.6%
EBITDA（営業利益+減価償却）	342	296	+15.6%

### 受注高

- 中長期的な成長に向けた新たな事業体制への移行準備として、まずは準備会社1にフォーカスし、継続的な大規模案件の獲得に向けた営業活動に注力する。これにより、今期は前期と比較して小規模案件が減少予定。
- 準備会社2に関してはWEBマーケティングを主軸とした営業体制へ転換するため、成果の顕在化には一定の期間を要する見込み。
- 上記背景によってQ1の受注高は昨年を下回るが、Q2以降に大型案件の受注が増加する計画のため、通期では前期を上回る計画。

### 売上高

- 上記受注状況に鑑みQ1の受注額がスモールスタートとなることに加え、Q2以降に受注予定の案件は大規模でありプロジェクト立ち上げまでに時間を要することから、開始時期が来期にずれ込む可能性を想定し、前期と同水準で計画。

### 営業利益

### EBITDA

- 受注高及び売上高計画の背景により、上期の利益はマイナスの予定だが、Q3にプラス転換する計画。
- 2025年度に実施した業務効率化の推進に伴う人員配置の見直し等の影響で人件費は減少。
- 営業活動にかかる継続投資を行うほか、中長期成長を目的としたITシステムのリリースに伴う減価償却が開始するため、営業利益は前期比で微減するが、EBITDAは前期比増で計画。

# 免責事項

- 将来見通しに関する注意事項
  - － 本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。将来の見通しに関する記述には、別段の記載がない限り本資料の発表日現在における当社が入手可能な情報並びに当社の計画及び見込みに基づいた当社の想定、将来の見通し及び推測が含まれますが、これらが達成される保証はありません。経済状況の変化、個人ユーザーの嗜好及び企業クライアントのニーズの変化、他社との競合、法規制の変化環境、為替レートの変動その他の様々な要因により、将来の予測・見通しに関する記述は実際の業績と大幅に異なる場合があります。したがって、将来見通しに関する記述に過度に依拠することのないようお願いします。当社は、適用ある法令又は証券取引所の規則により要求される場合を除き、本資料に含まれるいかなる情報についても、今後生じる事象に基づき更新又は改訂する義務を負うものではありません。
- 外部資料に関する注意事項
  - － 本資料には、当社が事業を行っている市場に関する情報を含む、外部の情報源に由来し又はそれに基づく情報が記述されています。これらの記述は、本資料に引用されている外部の情報源から得られた統計その他の情報に基づいており、それらの情報については当社は独自に検証を行っておらず、その正確性又は完全性を保証することはできません。
- 本資料の利用に関する注意事項
  - － 本資料は、一般的な参考情報の提供のみを目的に作成されたものであり、金融商品取引法又はその他の法令若しくは諸規則に基づく開示書類ではありません。
  - － 本資料及びその記載内容について、第三者が、当社の書面による事前の同意なしに、その他の目的で公開し又は利用することはできません。
  - － 当社は、本資料に含まれる情報の正確性又は完全性について表明するものではなく、本資料の使用から生じるいかなる損失又は損害についても責任を負いません。



## IRのお問合せ先

IRに関するお問い合わせは、以下のお問い合わせフォームよりお願いいたします

<https://ir.coacha.com/inquiry>